

素晴らしい先輩方から学び、想いを紡ぐ喜び

62期 せんが しげよ 千賀 茂世

22年ほど昔の卒業の前、北辰会への入会の案内が来たように思います。入学式、文化祭、卒業式、生徒たちの節目節目に来てくださる年配の方々がいらっしゃることに気が付いていました。しかし、同窓会？先輩たち？自分は年齢を重ねていたものの、今までに経験したことのないことでした。小学校中学校の同窓会も、実家に連絡が届いていたのでしょうが渡されなかった。

元々、父が亡くなり母、母方の祖母と子ども3人、驚くほど社会との繋がりを持たない家庭で、社会は薄情な弱みを見せてはいけないところでした。結婚出産し転勤族となり、その時その時で新しい人間関係は作りました。



転勤で豊中に住み北野高校定時制に入り、初めて同窓会という名の人々に、ほう…という感じでした。先輩方の学ばれていた時代と違い、同級生たちは様々な年齢や境遇です、同じ学校に来ている友だちとおしゃべりし遊びに行くことで、自分の存在理由を探し重苦しい家庭環境から逃れるために通学していましたように感じました。向学心に燃え学ぶのは年配の昔学びたくても学べなかった生徒たちで、若い生徒たちは将来を夢見ることほぼ無く、何とか毎日生き延びることや中卒では働く場がないため高卒の資格を取るために来ている子が多数でした。そんな中に同窓会の先輩たちが来られていたのです。自分たちの学生の頃とあまりに違う後輩たちを見てがっかりしておられたことでしょうか…。

生徒会長になり文化祭や式典で先輩たちが心配しながらも温かく見守ってくださっていたことに気付いて行った私です。それなのに！卒業が近くなり北辰会への入会の案内をいただいた時、自分は入会するけれど入りたい人だけ記入すればいいよと言ったのです。その後、閉課程問題が起き、北辰会があればこそ先輩方の大きな力の集結や活動があったのです！同級生や後輩たちを集めようにも、みんな散り散りばらばらになり、携帯電話も繋がらず引っ越しする家庭も多くなってしまいました。あの時、一緒に入会しようもっと強く進めていけば！事務補助として勤め後輩たちを気遣うと言いつつ、北辰会の先輩後輩の温もりや生涯かけての繋がりを伝えてこなかった自分を恥じています。もっと早く集める必要があったのです。

北辰会の解散…。先輩たちの努力やご厚意に甘え、自分は素晴らしい先輩方から学び繋がれる喜びを感じてきたのに、それを後輩たちに伝えて来れず、若い世代が同窓会を存続したかも知れなかったこと…。これは私の犯した恥ずべき行為であり罪です。ずっと後悔しています。これから先、わずかでも見つけて繋がりが持てるようにどうしていけるか、若人の会や皆様のお力を借りながら贖っていきたく考えています。どうぞどうぞ、今後ともご教示くださいますよう、よろしく願いいたします。